

## 寄附者設定テーマ事業 事業報告シート

団体名	特定非営利活動法人フードバンクしまねあったか元気便
テーマ名	子育てや社会教育推進
事業名	「就学援助世帯」の子どもたちへの学習と「体験」の場づくりと「おかあさんのためのレスパイト応援」
事業費(うち助成金額)	250,000 円
ネーミングライツ(該当があれば)	※NPO活動推進室記載箇所



### ■事業目的（250文字程度）

「子どもの生活実態調査結果」（島根県）や「フードバンク利用世帯のニーズアンケート調査」（島根大学研究チームとの共同2023年）を踏まえ、「就学援助世帯」の子どもたちに「豊かな体験と学習の場づくり」を提供し、健やかな成長と「自己肯定感の醸成」などを培う場づくりをめざしています。また、とりわけ、利用者の7割以上を占める、ひとり親には「おやこ de 思い出づくり」、「子どもたちとゆっくり過ごせる時間」と「おかあさんだけの時間」を提供することをめざしました。

### ■事業内容（350字程度）

「豊かな体験と学習の場づくり」では、小学生を対象とした「お昼ごはん+学習応援」を松江市内の2つの公民館で長期休暇中（春・夏・冬休み期間）に行いました。体験の場は田植え、稲刈りなどの食育体験、クリスマス会、夏休み野外体験（カヌーとバーベキュー体験）、このほかにも「こどもだいがく」（県大松江キャンパス）、「キッズシアター」（県立短大音楽研究室）、チャリティーサンタ（NPO）、「おやこ de 思い出づくり」では、「由志園無料招待」（企業の寄付企画）、「のびのびキャンプ」（国立三瓶青少年交流の家）など主催者のご協力を得て利用世帯に参加や利用のよびかけに取り組みました。中学生対象では「中学3年生進路・進学『応援塾』」（島根大学研究チーム、NPOスペース、島大BBS共催）や「中学校卒業をみんなで祝う集い」（共催・協賛19団体・企業）などに取り組みました。「おかあさんのためのレスパイト応援」では、別紙のご案内チラシの通り様々な事例が生まれるとともに、更なる利用を呼びかけていました。

### ■事業成果と今後の展望（450字程度）

企画や取り組みを通じて、多くの利用があり、事業目的に「接近」しつつあるように思います。また、企画や取り組みは、共同開催や協賛など様々な形でたくさんの団体や企業の協力を得ることも目的としました。これを通じて、「就学援助世帯」の子どもたちや家族の抱える困難や課題に対しての理解を広げ「支える輪づくり」を広げたいと考えています。

これまでの取り組みを土台として、新たな取り組みを新たな団体・企業の協力の下にすすめています。子どもたちやその家族が抱える困難や課題の改善、解決にむけて、一つひとつのテーマごとに、多くの団体や企業と「共同（協働）」を重ね「支える輪づくり」を広げたいと考えています。

25年度は、物価高騰やお米の「品薄」など、厳しい事業環境にありますが、「支える輪づくり」を広げベースの取り組みであるフードパントリーを広げ、利用者の広がりを作るなかで、多くのフードバンク利用世帯の子どもたちと家族の参加や利用を広げていきます。